



あかり
小野 明星 さん

●旗川小学校 6 年

両親と共に

私の両親が飲食店で働いているので、私は手伝うことがあります。そのときに、お茶や水を配ったり、お皿洗いやおぼんをふいたりしています。また、おつけ物を分けたりすることとても楽しいです。いろいろなことを見たり体験したりしたので、私は、飲食店で働きたいという思いが強くなりました。

両親と同じ店で働いて、来てくれたたくさんのお客さんの注文取りをしたり、料理を作ったり、作った料理の盛りつけをしたりしたいです。



佐野ブランドキャラクター
さのまる

市長からの メッセージ



いよいよ夏本番です。皆さんにはいかがお過ごしでしょうか。

先月3日、東京代々木にあるブルガリア大使館を訪問し、駐日ブルガリア共和国ヴァシレフ全権大使にお会いしてきました。大使は、6月5日に開催された「ソフィア少年合唱団コンサート佐野公演」にお忙しい中お越しいただき、本市の少年少女合唱団との共演など、コンサートを楽しまれたほか、関係者との交流もしていただきました。その時のお礼と今後の継続的な友好交流のお願いをしてまいりました。

また、先月16日からオーストラリアラグビー協会の視察団が、2019年ラグビーW杯及び東京五輪のキャンプ地視察に栃木県を訪れ、17、18日と本市の施設見学、並びに交流イベントでの技術指導をしていただきました。これを機会にキャンプ地として本市を選んではいただくことを期待するとともに、今後も広くシティプロモーションを行ってまいりたいと考えています。

6月24日には、「第41回栃木県消防救助技術大会」が行われ、本市消防本部チームが引揚救助の部で、見事に3連覇を達成しました。市民の安全安心のため、日頃の猛訓練の成果が出たものと大変誇らしく思っています。有事の際には、この経験を現場でも生かしてもらいたいと思います。

さて、先月から市内各地で夏祭りが開催されています。今月は2日の「たぬまふるさと祭り」を皮切りに、8日、9日には「さの秀郷まつり」、22日、23日には「くずう原人まつり」と続きます。また「三轟山大文字焼き」が今年は15日に開催されます。各祭りともそれぞれ工夫を凝らした盛りだくさんのイベントとなっておりますので、ぜひ皆さんもご参加ください。

暑い日が続きます。水分補給を忘れずに、元気に夏をお過ごしください。

岡部 正英



今回の表紙「新庁舎建設工事」 ※7月14日現在の新庁舎（庁舎北東より撮影）

7月4日に、内装・外装工事の最盛期を迎えている新庁舎建設工事現場で施工ワークショップ（現場見学や工種体験）が開催され、21家族56人が参加しました。

参加者は完成後では見られない建設途中の内部を見たのち、2階の執務スペースなどで、左官・ビス止め・タイル貼り・カンナ削り・高所作業車の乗車などを体験しました。

荒井 文子^{ふみこ}さん
(岩崎町)



○プロフィール

交通指導員

佐野地区交通安全協会田沼支部三好分会長

三床の郷ボランティア



毎朝のあいさつ

「おはようございます。いってらっしゃい!」。荒井さんは毎日、三好小学校の前に立つて、元気に児童たちに声をかけています。

荒井さんが交通指導員になって13年。指導員になりたいと思っただけは、ご自分のお子さんが小さい頃、交通指導員にお世話になったことだそうです。それ以来、「自分も時間が持てるようになったら交通指導員になり、子どもたちの安全を見守りたい!」と思ったそうですが、なかなかチャンスがなく、長い間待ち、指導員になる夢を実現しました。

「毎朝のささいなあいさつの中で、子どもたちに元気をもらっています」と嬉しそうな笑顔で話す新井さん。同じ時間帯に毎日のように立っていると「今日はこの車は少し遅いな」「あれ、いつもより早いな」などと、前を通過していく車の変化もわかるそうです。

指導員を長い間務めていて、少しもたいへんだと思っただけは、何より嬉しいのは、卒業していった子どもたちが、町などで顔を合わせた際に「こんなに

ちは」と声をかけてきてくれること。子どもたちに声をかけられるたびに「指導員を続けてきて良かったな」と実感するそうです。

指導員として荒井さんが一番願っていることはやはり「子どもたちが事故などに遭わない」こと。毎日そんな思いを込めて、学校の前で声をかけています。荒井さん、これからも頑張ってください。

(市民記者 葛貫 郁子)



登校する児童たちに声をかける荒井さん。市内では60人の交通指導員が活躍しています。

佐野 ばんせい
ばんせい

「ブツアキ話」ってどんな話?

前回の「オッ」と同じように「ブツ」は語(動詞)の前に付けると、意味を強めるはたらきをします。「ブツ○○」という方言はたくさんありますが、この「ブツ」は、「打つ」がもとになっているため、話すことばの調子がひじょうに強く感じます。

○ブツカサル:「重なる」を強めています。物が幾重にも重なり合っている状態を表しています。カサルは「重なる」の意味です。「植木だつて枝と枝がブツカサなつチャー、下のほうの枝は枯れチャーよ」

○ブツコス:「壊す・破る」を強めています。「打ち壊す」が変化したものです。ボツコスともいいます。

「シノヤ(物置)はハー(もう)要らネから、ブツコシテンだけどさあ」

○ブツアキ:「割る」を強めています。「打ち裂く」が変化したものです。「薪をブツアキてたら、腰が痛くなつちゃった」※竹がすばつと割れるように、隠しごとをしないのでありのままに話すことを、ブツアキ話とかブツアキ話などといいます。

「ブツアキ話になるが、あの時はさあ、腰は痛くもかゆくもなかったんだよ」

○ブツパク:「刈る」を強めています。「打ち掃く」が変化したものです。草を鎌でたたき切るように、はげしく動かして刈ることをいいます。「あぜ道の草をブツパカネーと、ザッパクつて(湿っぽくて)歩けネーよ」

(市民記者 森下喜一)

